

親鸞聖人750回大遠忌法要参拝に参加させて戴いて

50年に一度の宗門挙げての「親鸞聖人750回大遠忌法要」に有り難く参拝させて頂き、ともに浄土真宗門信徒であることの喜びを感じます。

今回の法要は東日本大震災が重なり大変な状況と成り、ご門主様、新門様供に震災の被害と被災者の事を案じ、心を痛めて居られる事を語られてご心配のご様子、法要のスローガン「世のなか、安穏なれ」に込められている様に、今後はこの様な大災害が起きない事を心から願いたいものです。

ご住職も法要のお勤めに参列され、法衣を召された凛々しい姿に感銘致しました。50年に一度の尊いご縁にお参り出来たことを有り難く思います。

然し、後の800年の大遠忌法要にはお参りは出来ないが、次世代の方々に受け継いで頂きたいものです。皆様とともに参加させていただき有難う御座います。

合掌

村田 太喜夫 記



仏縁に結ばれた真心

3月11日(金)午後2時46分突然の大きな揺れ。日本を震撼させた東日本巨大地震が発生しました。東北沿岸に打ち寄せる巨大な津波。かつて見たこともない光景がテレビの画面を通して飛び込んで来ました。日が経つにつれ被災の大きさが判明し死傷者の数も日増しに増えていく中、更に福島県原発事故も発生し世界各国で日本の放射能拡散阻止処理状況に注目が集まっております。

関東周辺地域では電力供給が不足し、経験したことがない計画停電により交通機関が乱れ、街中では食料品を始め生活用品が品薄となり日常の生活に支障が出ております。

その様な中、我家に突然送り主が判らぬ宅配便が届きました。表紙には緊急支援物資と大きく赤いサインペンで書かれており、中にはカップラーメンや文具が入ってありました。送り主は熊本県八代市の松本千賀子様、暫く不思議と思いついていたところ、はっ！と気が付きました。昨年、京都の本山で開催された「門徒推進員中央教修」の同じグループで研修を受けたご門徒の仲間でありました。早速お礼の電話をしましたが、新聞ニュースでお困りのこととお送り頂いたそうです。感謝と共に改めて浄土真宗門徒の結束の強さと仏縁に結ばれた真心に深く感銘を受けました。

最近、とにかく世知辛い自分本位の世の中で、この様な真心に遭遇すると何か心が洗われ暖かな気持ちになります。

日頃、真宗の道を歩ませて頂いていることに感謝し有難く嬉しく思いました。

釈健心 (多田羅 健二 記)



壮年会だより

平成23年6月度中原寺仏教壮年会だより Vol.2



3.11の東日本大震災以来早くも3カ月猶予が過ぎ去ろうとしています。復旧作業は遅々として進まず政府・与党の政策遂行能力の不足、欠如を痛感する昨今です。

バブル崩壊以降の20年間は、「夢よもう一度と」バブル前の水準復帰を目指した徒勞の20年間であったと思っています。政官財癒着の複合体の支配者は、利益優先の経済至上主義の政策を採ってきましたが一向に景気の回復は実現出来ませんでした。人間の欲望は無限に拡大するもので大量消費、大量廃棄と言った資源の無駄づかいをして来ました。今回の大震災はかかる人間の愚行を改めさせる「天の警告」と受け止めて、生活の再設計を促す好機と見るべきでしょう。またそうすることが亡き犠牲者への最大の供養となることでしょう。「少欲知足」「物を大事にする」「勿体ない」という我々の脳裏から消え去った言葉を心に留めて日々を過ごして参りたいと思う今日此の頃です。

やがてくる梅雨の季節にも負けず暑さにも負けず、あまり頑張りもせず自然体で過ごしましょう。

3月の行事 March

◆3月21日(月) 春分の日【彼岸会】

3月11日に起きた大震災以来の初めてのお寺の行事であった。震災の後遺症と生憎の降雨にも拘らず、多数の皆様が参列された。



- ・大震災物故者追悼法要。ご住職の犠牲者に対する哀悼のお言葉があり、参詣者一同で「重誓偈」を誦しました。
- ・彼岸会法要は「阿弥陀経」を唱和、住職から「領収書の教え」と題して阿弥陀仏の本願の計らいで既に救われている衆生の念仏は「有難う」という感謝の念仏である。という法話を聴いた。
- ・同震災の直後、遙か九州は八代から安否を尋ねて、前壮年会会長多田羅さんにお見舞いの書状とお見舞いの品物が届いたという美しい書信を頂戴しましたので御披露させていただきます。
- ・法要後は間法会館に移り、知的障害児教育に一生を捧げた「筆子その愛—天使のピアノ」を見て、感動に落涙しました。

4月の行事 April

◆4月3日(日)【初参式】【花まつり】【合同法座】

- ・初参式(毎年「花まつり」の日に行われた新生児誕生を祝う式)では我孫子市在住の浅田太郎さん・容子さんの長女 和奏(わかな)ちゃん初参式を受式しました。
- ・花まつり(お釈迦さまのお誕生日を祝うまつり)が十一時から行われ三十人余の子どもたちが賑やかに集まりました。境内では壮年会の人たちが用意した餅つきをして婦人会の人たちが作ってくれたつきたてのお餅を友達や親子一緒にいただきました。



・婦人会、壮年会合同法座で映画鑑賞

今回はケーキと紅茶をいただき「犬と猫と人間と」の映画を鑑賞しました。ペットブームといわれる今日、町を歩けばあちこちで目にする光景があります。人間の恣意的な思惑の中で振り回され生かされている彼らが果たして幸せでしょうか?



平成23年6月～9月壮年会行事

6月の行事 予定

6月19日(日) 午後1時 定例法座(壮年会法座併催) 講師: 中原寺住職

7月の行事 予定

7月2日(土) 午後1時 婦人会法座 午後3時 ファミリーパーティー実行委員会
7月3日(日) 午後3時 壮年会法座
7月13日(水)～16日(土) 盂蘭盆会
7月18日(月) 午後1時 定例法座 (海の日祝日) 午後3時半 門信徒役員会
7月30日(土) 午後2時～ ファミリーパーティー前日準備
7月31日(日) 午後2時半 門信徒ファミリーパーティー 門信徒みんなで楽しむお寺のまつり「あえてよかつたね」
※当日お手伝い頂ける方は午前10時までにお集りください。

【8月の行事】 予定

8月13日(土)～16日(火) 盂蘭盆会
8月14日(土) 午前10時 盂蘭盆会法要 亡き人を縁として法に遇えた歓喜会。 講師: ケネス田中氏(武蔵野大学教授)
8月20日(土)～21日(日) 子ども合宿(第15回) (1泊2日) お寺に泊まって仏さまのお心や自然にあふれる
※当日お手伝い頂ける方は中原寺までご連絡ください

9月の行事 予定

9月3日(土) 午前11時 婦人会法座(敬老の集い)
9月11日(日) 午後3時 壮年会法座
9月20日(土)～26日(日) 秋季彼岸会
9月23日(金) 午後1時 彼岸会法要 浄土に心向け仏徳を讃える。 講師: 田畑正久氏(大分県医師)
※当日お手伝い頂ける方は12時までにお集りください

編集後記

6月会報は、当該期間に数多の行事が有りました。記事の取捨選択に編集者の福島さんは大変苦勞した事でしょう。壮年会の会員自身、あまり個人情報(その人の生い立ち、生活信条、仏教への信仰態度)を知らぬ関係で推移して来ました。より親密な関係を構築するためには、相手を知ることが肝要かと思ひます。次回からは、リレー方式で人物紹介をして行きたいと思ひています。

先ず初回は、編集者の独断で数名の方をお願いしております。

(河合 照夫 記)

4月の行事 April つづき

◆4月8日(金)～10日(日) 親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に参拝
4月9日からはじまる親鸞聖人750回大遠忌参拝のため、当中原寺から43名が参加しました。同参拝に関する旅行記を麻木さん、村田さんから頂戴していますので、掲載いたしました。ご投稿有難うございます。

◆4月17日(日) 定例法座



・副住職が被災地の状況とボランティア活動の報告

中原寺副住職は、他の若手僧侶と共に4日間にわたって千葉県旭市、茨城県銚田市そして仙台市宮城野区、石巻市を訪れ、救援物資や瓦礫の撤去等のボランティア活動に参加しました。

・住職の法話「歎異抄(序文)について」の法話

歎異抄は親鸞聖人の直弟子、唯円坊の著作とされています。親鸞聖人滅後、その教えが誤解された事を嘆いた書として命名されました。浄土真宗は、「仰真」を大事にしています。仰真とは阿弥陀仏の教えを大事にし、その教えに従って生きる姿勢だそうです。仏の真実の教えとは、「我執にとらわれず、眼を開き心を広める生き方」を教えているそうです。この真実の教えに信順し、念仏をお唱えする日々を生活することを勧めている。歎異抄の内容は、一部危険思想として公開すべからずとされて来ましたが、よくよく吟味して味わって見ると、大変示唆に富んだ教えと思えます。「教行信証」の難解な書物より、我々凡人には馴染みと愛着を感じる書物だと思います。



5月の行事 May

◆5月22日(日) 宿縁廟・降誕会・永代経法要修行

雨模様の中、多数の参詣者が集まり、下記法要と行事がしめやかに行われた。

・宿縁廟法要(廟前にて) 10時30分

宿縁廟法要には新たに16人の遺骨が納骨されました。中原寺を縁として次世代に仏法が相続されるよう、今後さらに入廟の意義が増すものと思えます。

・宗祖降誕会法要(本堂) 11時

・講話1「今、親鸞聖人おわしますれば」11時20分

講師—上田 紀行先生 (東京工業大学院准教授)

・おとき(昼食) 12時

・永代経法要(本堂) 13時

・住職挨拶 13時30分

・講話2「今、親鸞聖人おわしますれば」13時40分

このたびの講師上田紀行先生^{*}は昨年秋の第22回文化講演会の講師として「仏教の進むべき方向」を示唆した内容で好評を博しました。

現在日本は、第3の敗戦(心の崩壊)に直面しています。毎年自殺者が3万人有余に達し、

13～14年も続いている。これを解決する貴重な提言がなされ苦しみ、悩んでいる人々の気持ちを聴いてくれる役割として、お寺の存在意義が問われています。大谷門主との対談で、「今のお寺および僧侶は説教はするが衆生の悩みを聞き相談に応じることが少ない」と仏教界への苦言を呈しているのと符合している。更にドライ・ラマとの対談では「今よい種を蒔き続けて行けば、必ずや良い結果が得られる」という「縁起」の真理を語られ、我々に生きる勇気を与えて下さった。ユーモアを交えた中に、時代を鋭く洞察した講演でした。

感話
シリーズ-2

【親鸞聖人750回大遠忌法要参拝旅行記】



50年に一度の大法要である親鸞聖人750回大遠忌法要が4月9日から本山御影堂で始まりました。法要は来年1月16日の750回忌ご正まで65日間115座がつとめられますが私たち中原寺は第1回目午前の法要に参加しました。文字通り1年1組です。

以下、2泊3日にわたる参拝旅行記をまとめてみました。

4月8日(金)、ご住職ほか男性15名、坊守ほか女性28名合わせて43名の参拝団は東京駅でご住職の「楽しく元気でいきましょう!」とのお挨拶で結団し、10時3分発のひかり43号で出発。12時48分京都着後観光バスにて親鸞聖人御誕生の聖地・日野誕生院に向かいました。

あいにくの小雨模様でしたが「・・・針やわらかく春雨の」の趣のしっとりした雰囲気や丸谷正明師から日野誕生院の由緒を伺いました。さらに春の高校選抜で創志学園主将の「生かされている命に感謝して全身全霊で・・・」の選手宣誓を引き合いに出されて私たちのあり方、生き方についての法話をいただきました。

つづいて地続きの法界寺を参拝。五間四方の宝形造り、椴皮葺の阿弥陀堂に安置されている国宝・阿弥陀如来座像に息をのみました。懐中電灯の明かりの中に浮かび上がる光芒の中で見る如来は頬がふっくらとして穏やかで慈容にあふれていました。参拝後、大谷本廟へ。讃仏偈のおつとめをすませ、一路バスは雄琴温泉「雄山荘」へ。添乗員は日本旅行の大谷さん。穏やかでニコニコして世話に当たっている。バスガイドは吉岡あゆみさん。ケラケラ笑顔が可愛い。入社後数年か? ややぎこちな説明ぶりがかえって初々しさを感じる。原稿無しには感心。着後、温泉、サウナで汗を流して宴会。明日が大遠忌法要ということで名目は「食事会」。演芸も無くアルコールも無くで粛々と食べるのみ。そうはいきません。オプションでお酒、ビール、焼酎をたしなむ。ちよびりのはずが・・・。

4月9日(土)8時、雄山荘発。いよいよ本山へ。境内には全国からの参拝客であふれている。担当のテキパキした誘導で3,700人を収容できる特別参拝席が設けられた御影堂に入堂しました。緊張の中、講社、列衆、讃嘆衆の入堂に続いて平野俊興住職がご内陣列衆としてご出勤されました。われわれ門徒はその凛々しいお姿に改めて惚れ直しました。

法要はご門主御導師、新門さまご出座で宗祖讃仰作法が勤められました。おつとめの後、新門様とご門主がお言葉を述べられました。お二方とも東日本大震災で亡くなった方や被災者にお悔やみとお見舞いを述べられました。ご門主は「自然現象は止められない。しかし自然現象への対応は人間の考え方によるものです。豊かさ、利益を優先する現代人の生き方を見直していかなければならない。被災地救援に精一杯つとめるべき」と申されました。

法要終了後国宝・唐門前で記念撮影。飛雲閣を見学後、一路、高田派本山・専修寺に向かいました。寛文6年(1666年)建築の御影堂でご住職よりお寺の由緒をお聞きしました。現存している親鸞聖人のご真筆の4割を保存しているところから弟子の聞き書きである歎異抄を聖典とする必要はないとのこと。ただし、否定はしていないそうです(麻木注)

参拝後、お待ちかねの賢島・宝生苑へ。賢島屈指のホテルです。庭園露天風呂から見下ろす英虞湾の絶景にプラボーです。坊守さん以下千葉組の坊守さんで「鏡開き」でお待ちかねの大宴会幕開け。今日は飲み放題。美味しい料理でアルコールも進みます。宴が進み、盆踊りが始まります。ファミリーパーティーでおなじみの婦人会の踊りがさすがです。「♪月が出た出た♪」と錦織門信徒会会長も踊りだします。さらにカラオケ。松田信子さんの「夫婦坂」は圧巻でした。ステージに上がったわが寺の応援団も「信子チャーン」と大声援。楽しいひと夜が過ぎました。

4月10日(日)、いよいよ帰路です。さびしい思いもちよびります。伊勢志摩真珠館・大漁水産でお買い物。伊勢神宮の見事な桜を堪能した後、おかげ横丁散策。造り酒屋でお酒の試飲。

おいしいこと。亀山で焼き焼き定食のお昼を頂いて名古屋の市内観光。胸には想い出いっぱい、手にはお土産いっぱい午後6時10分東京駅に無事に着きました。

麻木 隆一 記

